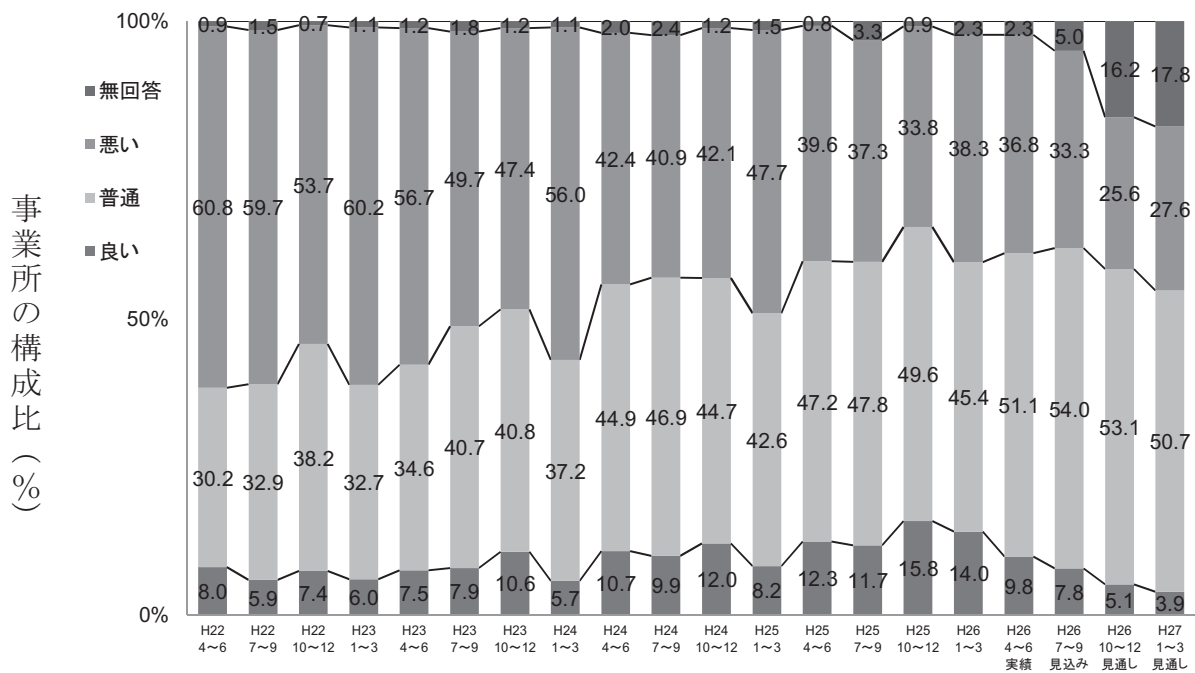
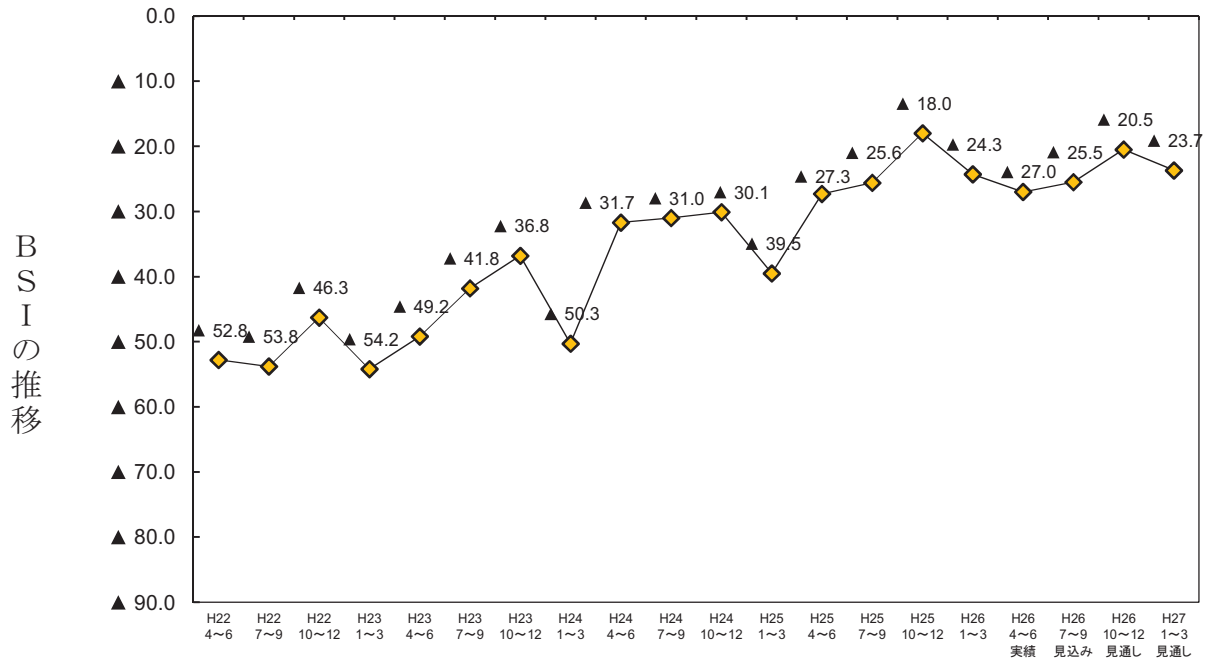


3. 調査結果

(1) 業況判断

ポイント
 26年4～6月期の業況感を示した業況BSI（「良い」-「悪い」）は▲27.0と、同1～3月期の▲24.3から2.7ポイント悪化したが、続く26年7～9月期は▲25.5と、1.5ポイント改善した。
 先行きについてみると、同10～12月期は▲20.5と、さらに5.0ポイント改善する見通しだが、27年1～3月期は▲23.7と、低下に転じる見通しとなっている。

図1 業況判断BSI

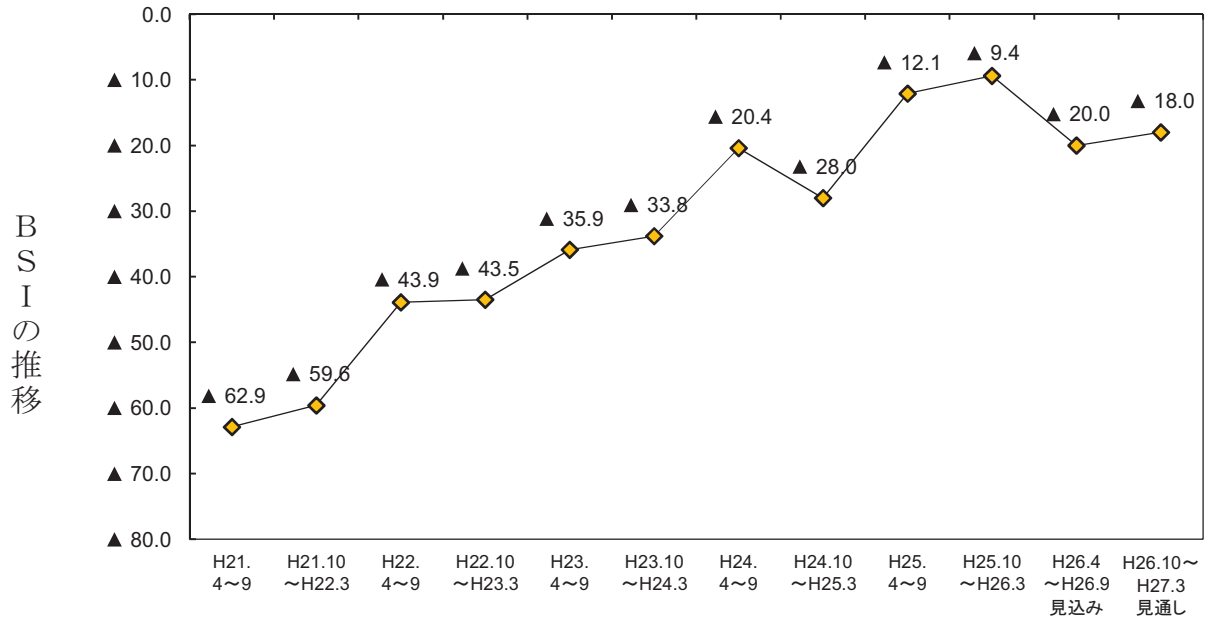


(2) 生産・売上

ポイント

今期の生産・売上BSI(「増加」－「減少」)は▲20.0と、前期(▲9.4)から10.6ポイント低下した。来期は▲18.0と、上昇に転じる見通しとなっている。

図2 生産・売上BSI

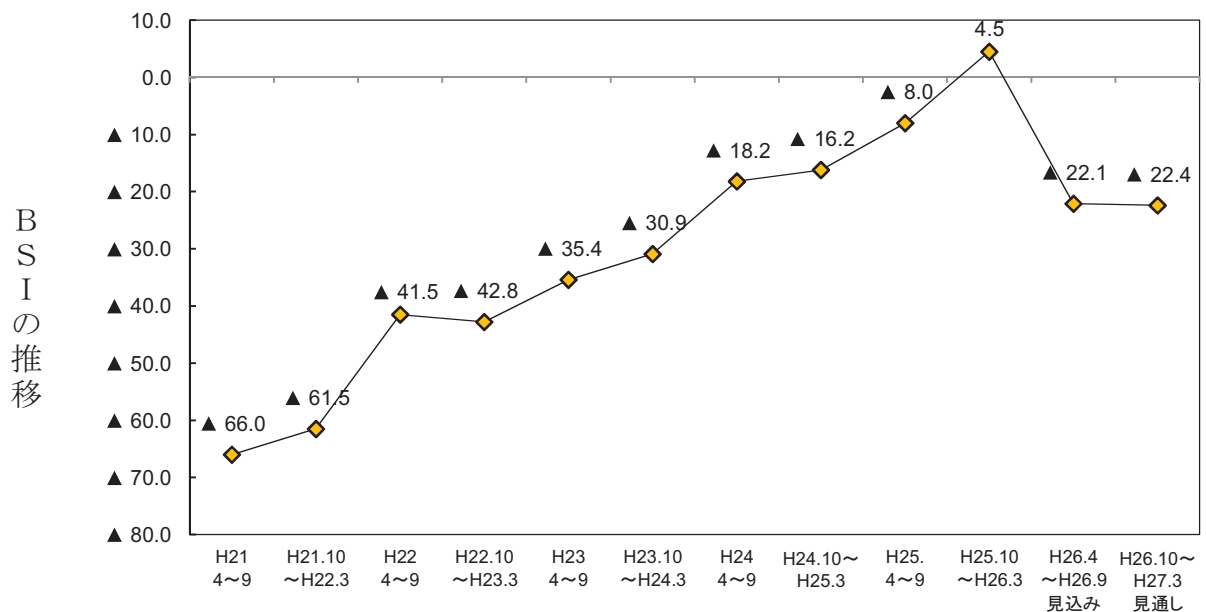


(3) 受注(製造業・建設業のみ)

ポイント

今期の受注BSI(「増加」－「減少」)は▲22.1と、前期(4.5)から26.6ポイント低下し、7期ぶりの低下となり、プラスからマイナスに転じた。来期は▲22.4と、今期とほぼ同水準で推移する見通しとなっている。

図3 受注BSI

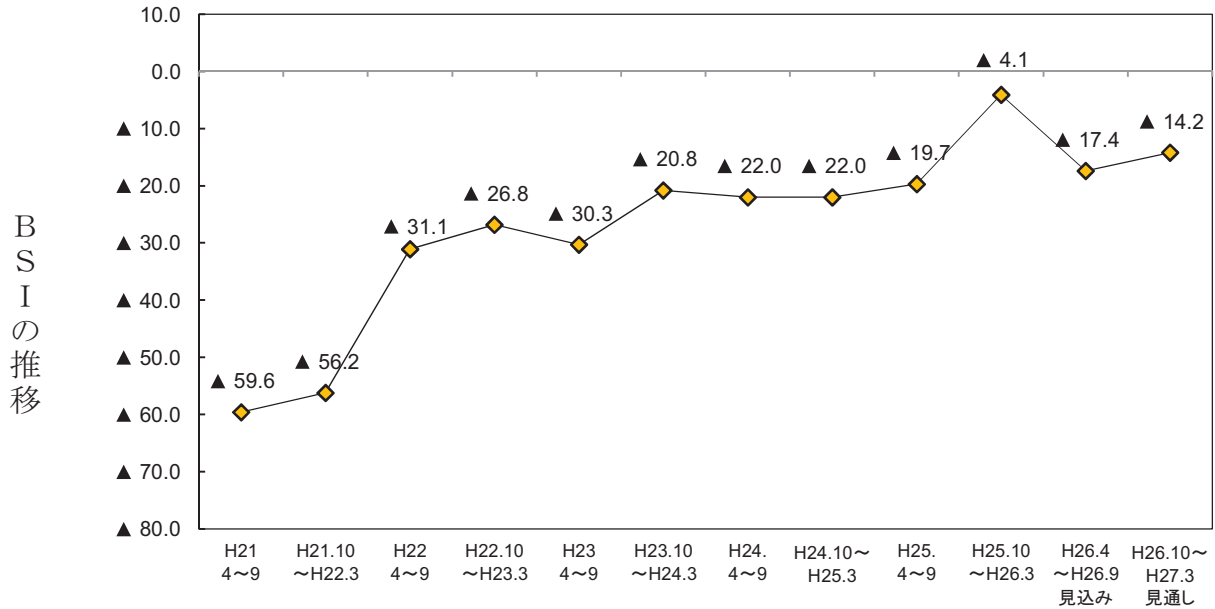


(4) 出荷(製造業のみ)

ポイント

今期の出荷量BSI(「増加」－「減少」)は▲17.4と、前期(▲4.1)から13.3ポイント低下した。来期は▲14.2と、上昇する見通しとなっている。

図4 出荷量BSI

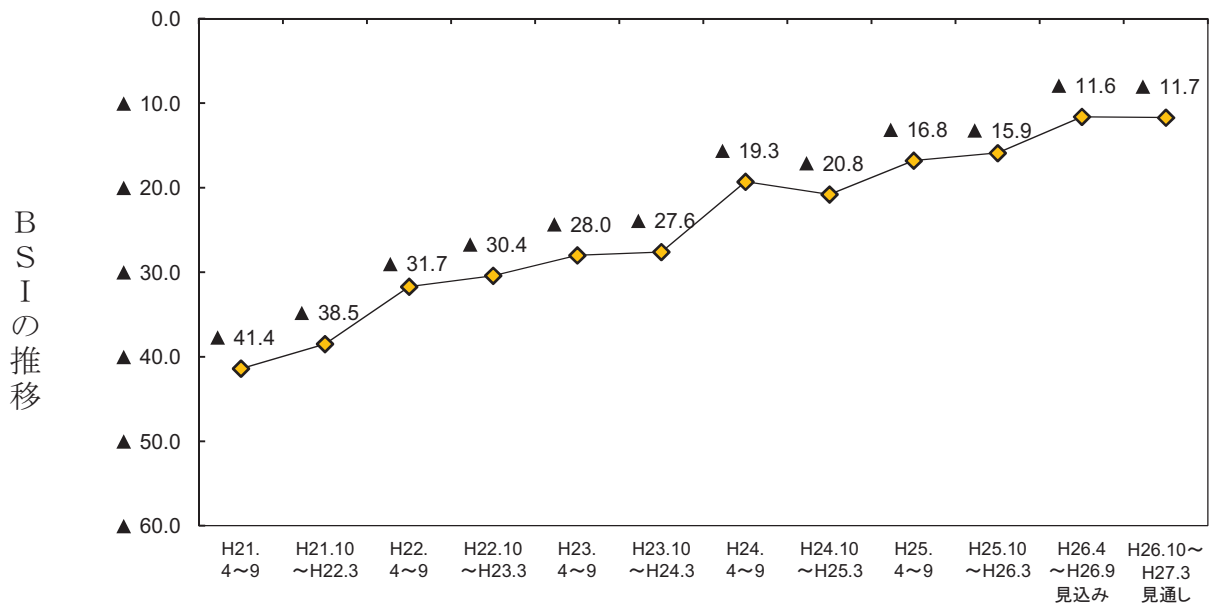


(5) 資金繰り

ポイント

今期の資金繰りBSI(「好転」－「悪化」)は▲11.6と、前期(▲15.9)から4.3ポイント上昇した。来期は▲11.7と、今期とほぼ同水準で推移する見通しとなっている。

図5 資金繰りBSI



(6)在庫(原材料在庫は製造業のみ)

ポイント

- 製・商品在庫BSI(「過剰」－「不足」)は1.2と、前期(▲0.5)から1.7ポイント上昇し、「過剰」超に転じた。来期については、0.0となっている。
製・商品在庫を「適正」とする事業所の割合は、今期、来期ともに約4割となっている。
- 今期の原材料在庫BSI(「過剰」－「不足」)は▲2.7と、前期(▲1.3)から4.0ポイント上昇し、「過剰」超となった。来期は▲1.3と、「不足」超に転じる見通しとなっている。

図6-1 製・商品在庫BSI

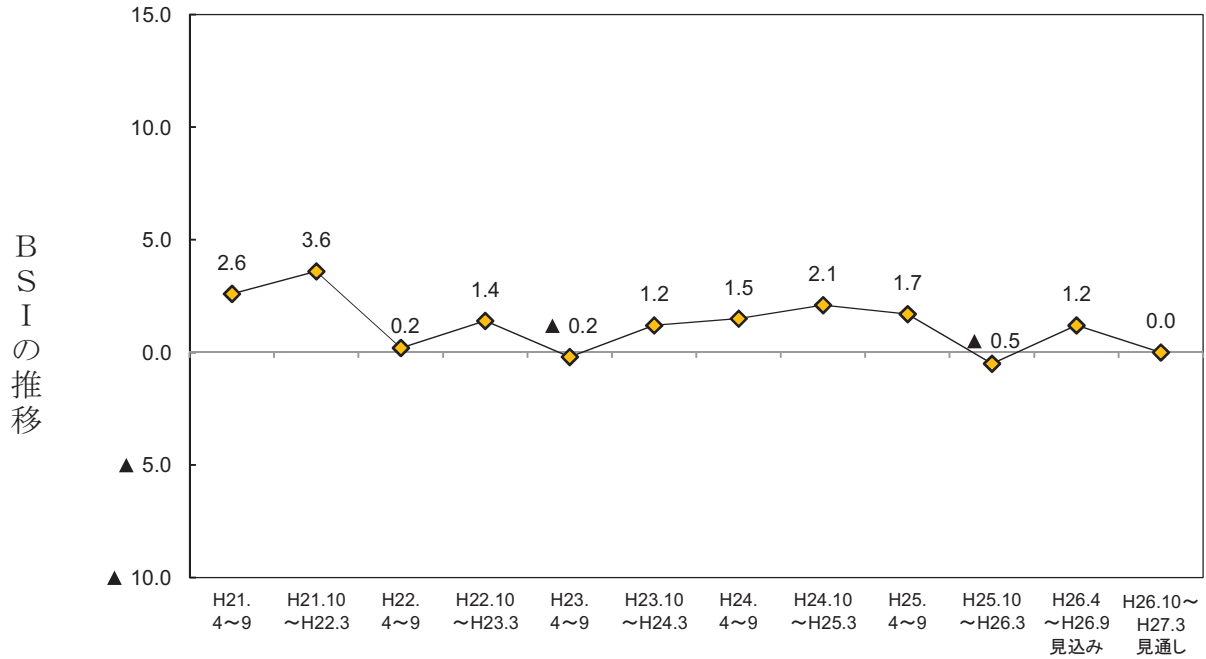
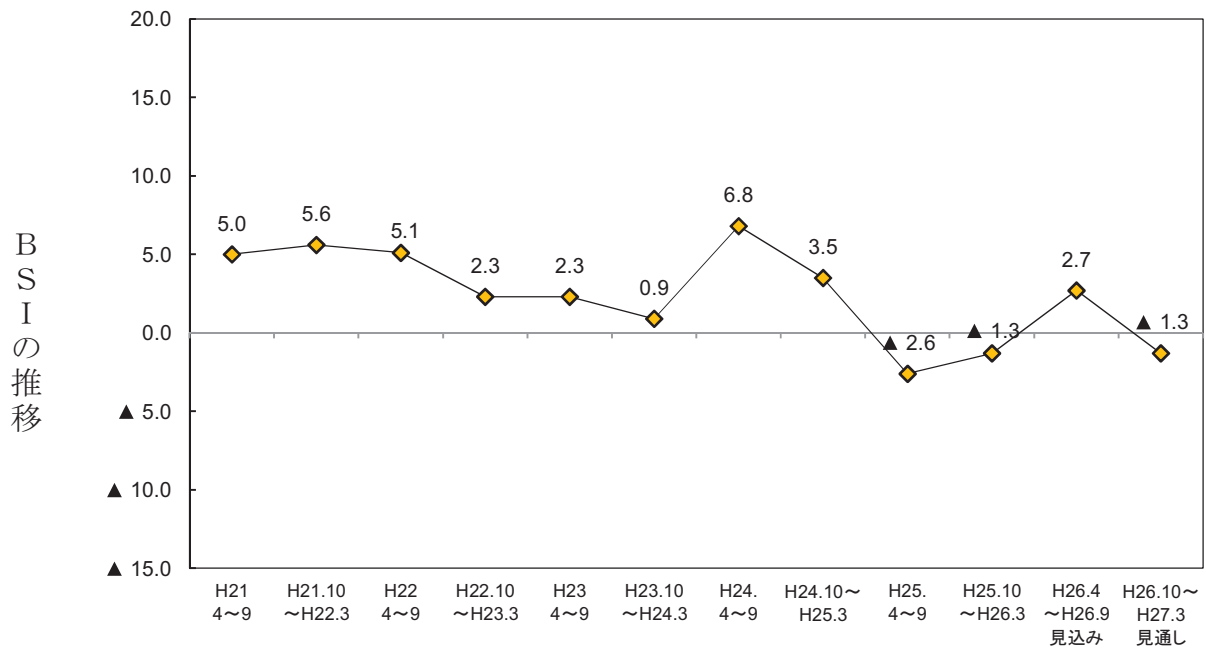


図6-2 原材料在庫BSI



(7) 価格

ポイント

- 今期の仕入価格BSI(「上昇」－「低下」)は、40.3と前期(36.1)から4.2ポイント上昇し、4期連続の上昇となった。来期については32.6と、低下に転じる見通しとなっている。
- 今期の販売価格BSI(「上昇」－「低下」)は5.4と、前期(▲4.8)から10.2ポイント上昇し、マイナスからプラスに転じた。来期は2.8と、低下する見通しとなっている。

図7-1 仕入価格BSI

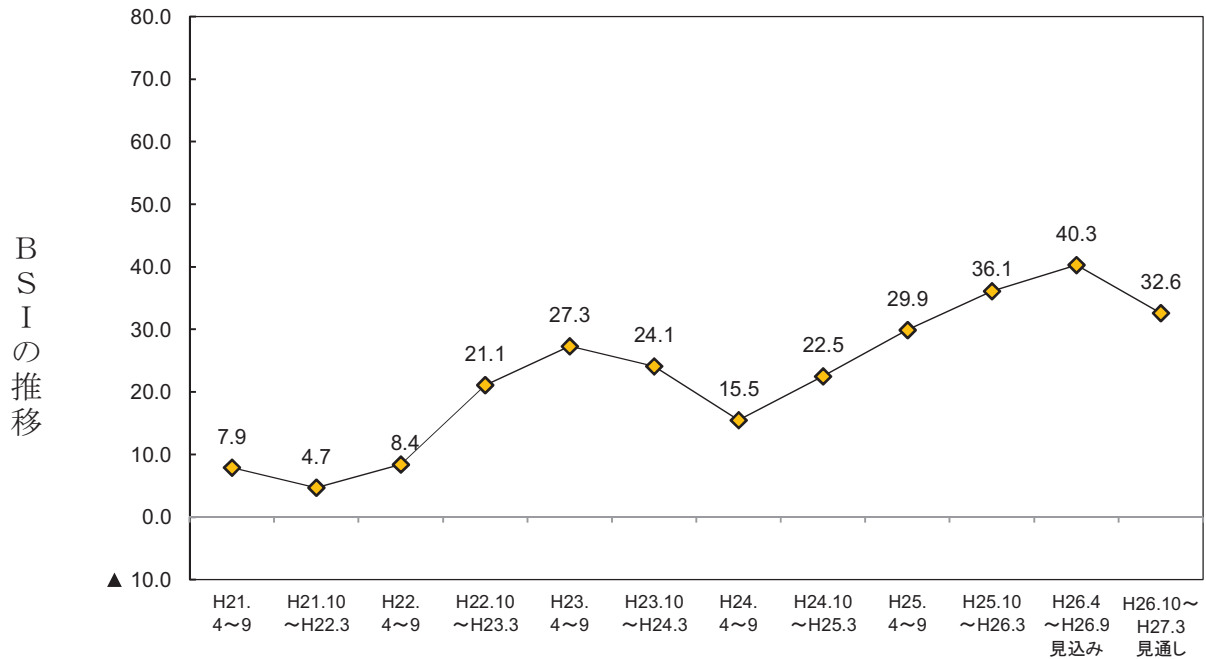
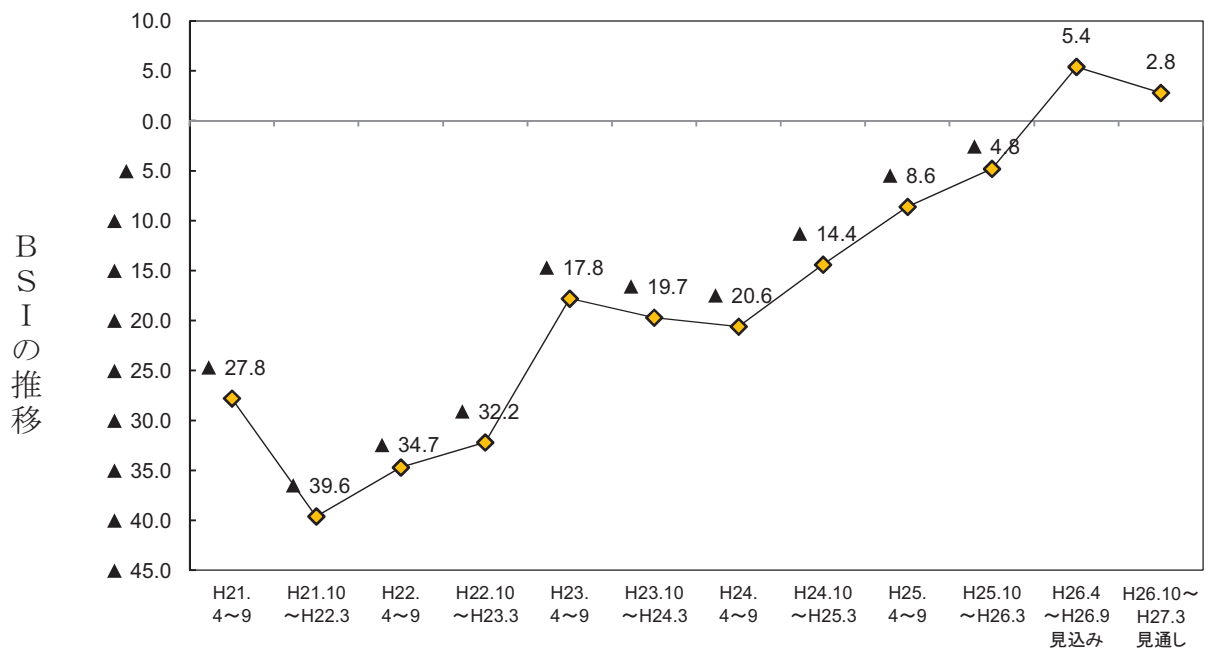


図7-2 販売価格BSI



(8)雇用

ポイント

- ・ 今期の所定外労働時間BSI(「増加」－「減少」)は▲0.3と、前期(2.2)から2.5ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。来期は0.4と、ほぼ水準で推移する見通しとなっている。
- ・ 今期の一人当たり人件費BSI(「増加」－「減少」)は21.8と、前期(15.1)から6.7ポイント上昇し、7期連続の上昇となった。来期は19.7と、低下に転じる見通しとなっている。

図8-1 所定外労働時間BSI

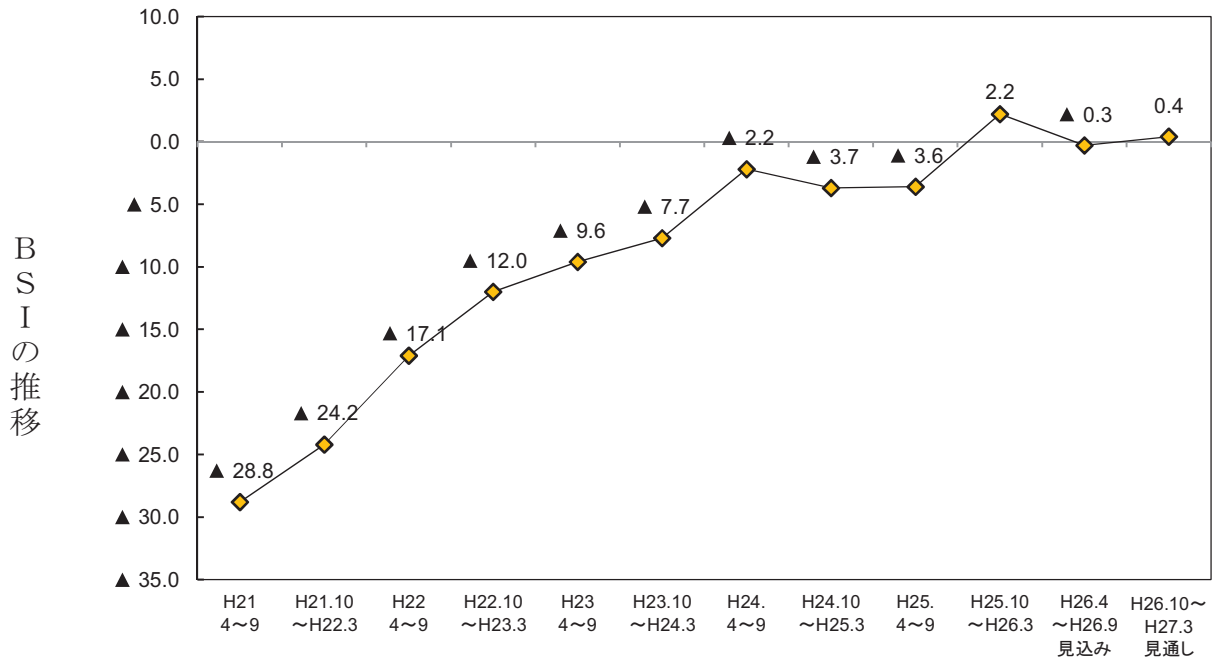
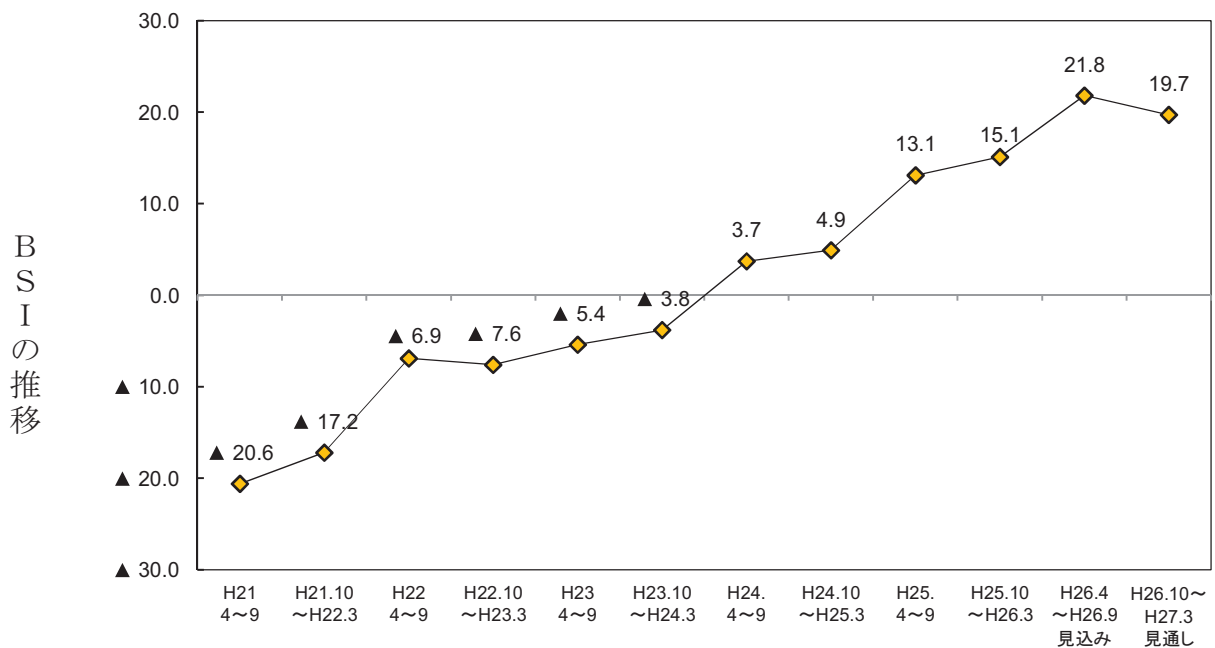


図8-2 一人当たり人件費BSI



(9) 設備投資

ポイント

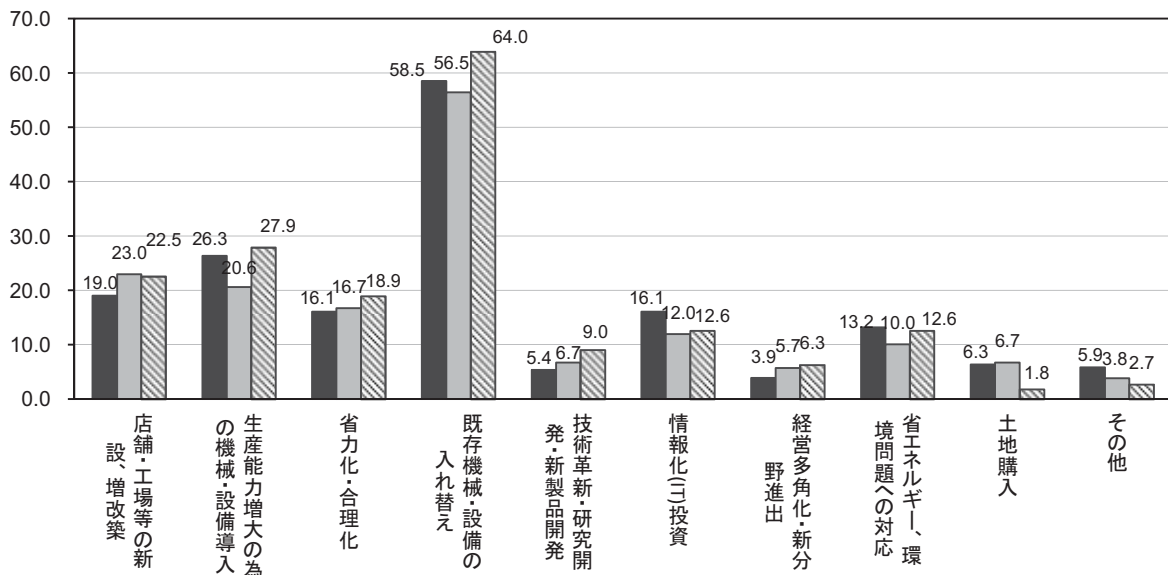
- 26年度における設備投資の実施事業所割合（実績見込み）は24.5%と、前年度とほぼ同水準となった。来年度は14.5%と、低下する見通しとなっている。
- 26年度の設備投資目的としては、「既存機械・設備の入れ替え」が最も多くなっている。

表9 設備投資の実施事業所割合と設備投資額の前年度比増減率

	設備投資の実施事業所割合(%)			設備投資額の前年度比増減(%)	
	平成25年度 実績	平成26年度 実績見込み	平成27年度 計画	26年度/25年度	27年度/26年度
全体	23.9%	24.5%	14.5%	10.7%	-43.0%
【従業者規模別】					
4人以下	6.6%	8.4%	3.1%	125.0%	-95.4%
5人～19人	19.6%	16.9%	7.2%	58.6%	-79.6%
20人以上	40.5%	42.4%	28.2%	7.5%	-39.4%
【業種別】					
製造業計	29.5%	31.8%	18.9%	18.2%	-36.9%
非製造業計	22.3%	22.3%	13.2%	6.1%	-47.2%
建設業	21.8%	21.6%	10.6%	141.5%	-63.3%
運輸・通信業	30.2%	30.5%	23.0%	3.6%	-66.9%
卸・小売業	19.5%	16.4%	8.2%	-48.4%	-45.6%
飲食・宿泊業	15.4%	25.9%	11.4%	66.6%	-22.0%
サービス業	21.8%	19.5%	12.7%	-20.6%	1.3%

図9 設備投資の目的(複数回答)

■平成25年度 □平成26年度 ▨平成27年度



(10) 経営上の問題

ポイント

- 経営上の問題について、各項目の該当事業所割合は「仕入価格の上昇」(41.4%)が最も多く、以下「人材不足」(40.1%)、「生産・受注・売上げ不振」(32.8%)と続いている。
- 業種別にみると、製造業の各項目の該当事業所割合は「仕入価格の上昇」(50.2%)が最も多く、以下「生産・受注・売上げ不振」(42.9%)、「人材不足」(31.1%)となった。
非製造業の各項目の該当事業所割合は「人材不足」(42.6%)が最も多く、以下「仕入価格の上昇」(38.9%)、「生産・受注・売上げ不振」(30.0%)となった。

図10 経営上の問題(複数回答)

